

術前化学放射線療法後リンパ節陰性膵癌における残存リンパ管侵襲による高リスク群の同定に関する研究

1. 研究の対象

2005年1月～2019年12月に当院で術前化学放射線療法(NACRT)後に膵癌の根治切除術を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2027年3月

研究目的：膵癌と診断され、術前化学放射線療法を受けた方で、手術で切除した組織に残存している「リンパ管侵襲（がん細胞がリンパ管に入り込んでいる状態）」が、その後の経過（再発や生存）にどのように関わっているかを明らかを検証します。

研究方法：研究対象者の方の診療録（カルテ）を後ろ向きに調査し、患者背景（年齢、性別等）、治療内容（抗がん剤や手術の詳細）、病理検査結果（切除した組織の顕微鏡診断）、および術後の経過（再発の有無や生存期間）などの情報を収集して解析します。なお、本研究は既存の診療情報を用いる研究であり、新たな検査や試料の採取は行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報（年齢、性別）、既往歴、治療前の検査結果（血液検査のCA19-9値、CT等の画像診断による腫瘍径・進行度）、術前治療の内容（抗がん剤の種類、放射線の線量）、手術記録（術式、切除断端の結果）、病理診断結果（組織型、腫瘍の大きさ、リンパ節転移の有無、リンパ管・静脈侵襲の有無等）、予後情報（最終観察日、生死、再発の有無と形式）等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化器外科 向井洋介

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181（代表）

メールアドレス：ymukai@gesurg.med.osaka-u.ac.jp

研究責任者：消化器外科 秋田 裕史

-----以上